

## 1. キャリア教育に関する総合的研究の概要

### (1) 研究の目的

本研究は、キャリア教育に関する実態を把握するとともに、それらに関する在校生の意識等も明らかにし、今後の各学校におけるキャリア教育の改善・充実を図るための基礎資料を得ることを目的として、7年に1度、実施しているものである。

前々回となる平成17年度には、中学校・高等学校を対象として実施したが、平成24年度に実施した前回は、児童生徒の社会的・職業的自立に向け、小学校段階から発達段階に応じたキャリア教育の推進・充実が強く求められている状況を踏まえ、新たに小学校も調査対象に加え、調査を実施した。

前回調査から7年が経過し、中央教育審議会答申においてもキャリア教育の重要性が繰り返し強調され、小学校、中学校及び高等学校の学習指導要領においては、特別活動を要に学校教育全体でキャリア教育の充実を図ることが明記された。こうした状況を踏まえ、各学校・地域の実態に応じた効果的なキャリア教育の推進・充実に資するため、令和元年度における、キャリア教育に関する実施状況と意識について総合的な調査、分析を行う。

### (2) 調査の実施時期

令和元年7月～10月

### (3) 調査の種類

- ① 小学校、中学校、高等学校におけるキャリア教育に関する実施状況と意識調査(学校調査)
- ② 学級・ホームルーム担任のキャリア教育に関する意識調査(学級・ホームルーム担任調査)
- ③ 在校生の進路に関する意識調査(児童生徒調査)

### (4) 調査の方法等

各都道府県・政令指定都市ごとに対象とする学校数を決めたのち、各都道府県・政令指定都市が所管する公立小学校・中学校・高等学校の児童生徒数に基づく学校規模に比例するよう、国立教育政策研究所において、ランダムに抽出して調査を依頼した。なお、児童生徒調査については、上記で抽出した学校のうち、更に各都道府県・政令指定都市から2校ずつ、ランダムに抽出して調査を依頼した(高等学校については、所管する学校が少ない場合は学校数を1校とするなどの調整を行った(別紙一覧表参照))。

#### ① 学校調査

- ・管理職に回答を依頼
- ・調査票は小学校・中学校・高等学校ともに1部ずつ配布

② 学級・ホームルーム担任調査

- ・各学校の最高学年（小学校：第6学年，中学校・高等学校：第3学年）を調査対象学年とし，その学年の学級・ホームルーム担任全員に回答を依頼
- ・調査票は小学校には5部，中学校・高等学校には10部ずつ配布

③ 児童生徒調査

- ・各学校の最高学年（小学校：第6学年，中学校・高等学校：第3学年）を調査対象学年としその学年において児童生徒数が最も多い学級・ホームルームの児童生徒全員に回答を依頼
- ・調査票は小学校・中学校・高等学校ともに45部ずつ配布

(5) 調査票の種類と配布数

	学校種類	対象学校数	調査票配布数
学校調査	小学校	1,000校	1,000枚
	中学校	500校	500枚
	高等学校	1,000校	1,000枚
学級・ホーム ルーム担任調 査	小学校	1,000校	5,000枚
	中学校	500校	5,000枚
	高等学校	1,000校	10,000枚
児童生徒調査	小学校	134校	6,030枚
	中学校	134校	6,030枚
	高等学校	126校	5,670枚

(6) 回答の状況

	学校種類	回答学校数	回答者数	回収率※
学校調査	小学校	795校	-	79.5%
	中学校	397校	-	79.4%
	高等学校	716校	-	71.6%
学級・ホーム ルーム担任調 査	小学校	800校	1,562人	98.3%
	中学校	400校	1,379人	97.2%
	高等学校	724校	4,066人	94.2%
児童生徒調査	小学校	110校	2,908人	98.2%
	中学校	118校	3,426人	93.7%
	高等学校	101校	3,606人	98.0%

※学校調査の回収率は，回答学校数を対象学校数で除して算出。学級・ホームルーム担任調査と児童生徒調査の回収率は，回答者数を回答頂いた学校に在籍する対象者数で除して算出している。